

第7章 蛍光灯の使用上の注意

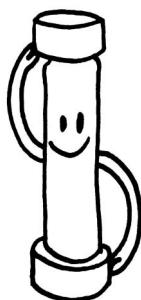
7-1 取り扱いは ていねいに

ガラス製品ですから、落としたり、物をぶついたり、無理な力を加えますと破損する恐れがあります。取り扱いには、十分ご注意ください。



7-2 確実なお取り付けを

取り付けが不確実ですと点灯しなかったり落下するなどの恐れがあります。また、接触不良は、短寿命・発熱の原因になることがあります。



7-3 点灯中や消灯直後は、さわらないで

手や肌がふれると火傷の危険があります。電源を切り、冷えてからお取り扱いください。



7-4 交換・清掃は、電源を、切ってから

取り付け、取り外しや器具清掃のときは、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。紫外線用ランプ（殺菌ランプ、健康線用蛍光灯）の場合は、目の痛み、視力障害や皮膚の炎症の原因となります。



7-5 布・紙は離して

ランプを布や紙などでおおったり、燃えやすい物に近づけないでください。火災や器具などの過熱の恐れがあります。また、ランプに紙などを貼りつけたり、塗料などを塗らないでください。ランプが過熱し、破損や口金はずれの原因になることがあります。



7-6 ホルダーはゆっくりと

環形蛍光灯を器具にはめこむ際、器具のランプホルダーで強くはじくとランプが破損したり、傷がついたりします。表面のヒビやキズは、あとで破損の原因になることがあります。



7-7 ひもひきはゆっくりと

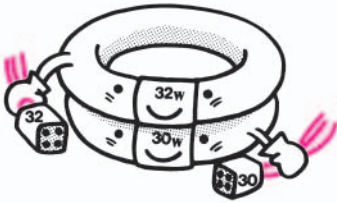
器具のひきひもを強くはじいたり、ランプにからませないでください。破損の原因になることがあります。



7-8 器具に合ったランプを

ランプは、適合した器具(安定器)で指定されたワット数のランプと必ず組み合わせて使用してください。(器具や安定器の銘板には適合ランプが表示されていますので、確認してからご使用ください。)

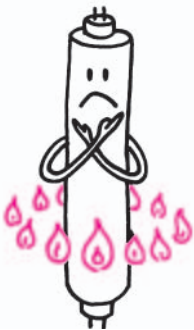
また、スタータ形ランプはラピッドスタート形器具には使用しないでください。



コンパクト形ランプの場合は所定のワット数のランプしか入らない構造になっています。

7-9 引火の危険性がある場所では

引火の危険性があるもの(ガス、スプレー、石油など)は近くで使用しないでください。(やむをえず使用する場合は、防爆型の器具でご使用ください。)



7-10 眼や皮膚を保護して

殺菌ランプや健康線ランプは、点灯中、絶対に直視しないでください。それぞれ専用の器具を用い、取り扱い説明書にしたがって正しく使用してください。(万一、眼や皮膚に痛みを感じた場合には、まず、専門医にご相談ください。)



7-11 雨水や高湿度の場所では

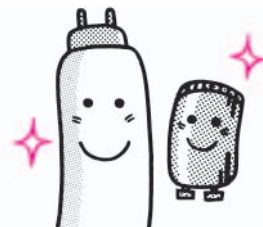
街路灯など雨水がかかる場所やお風呂場など高湿度の場所では、防湿・防雨形の器具でご使用ください。



7-12 点灯管の交換も忘れずに

蛍光ランプのお取替えの際は、点灯管(グロースタータ)の交換をおすすめします。

古くなった点灯管は、蛍光ランプの短寿命の原因となります。また、蛍光ランプに適合した点灯管をご使用ください。



7-13 風があたる場所は避けて

蛍光灯で、風にあたる部分は、黒化や斑点現象が発生しやすくなります。

エアコンなどの風向きにご注意ください。



7-14 ピン曲がりにご注意

直管形蛍光灯の場合、口金を下にして立てたり、強い衝撃を加えると、ピンの部分が曲がってしまいます。取り扱いにはご注意ください。



7-15 点検・清掃は定期的に

使用中にほこりやゴミが付着しますと暗くなりますので、定期的に清掃を行ってください。



7-16 点滅は少なく

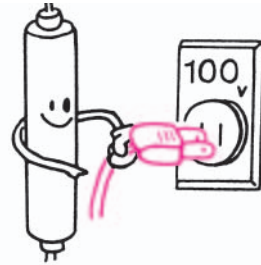
点滅を頻繁におこないますと、ランプ寿命を著しくそこなう場合があります。



7-17 適正な電圧で

器具(安定器)に指定されている電圧の±6%の範囲内でご使用ください。

また、直流電源では絶対に使用しないでください。



7-18 周波数にあった器具を

電源周波数にあった器具(安定器)を使用してください。周波数があっていないと、ランプが正常に点灯しなかったり、点灯中の器具・配線の過熱の原因となります。しかし、インバータ式器具は周波数に関係なくご使用になれます。



7-19 適正な周囲温度で

蛍光灯は5 から40 の範囲でお使いください。周囲温度が5 以下の場合、点灯直後に暗く感じたり、ちらついたり、水銀付着による管端の黒ずみが現れることがあります。



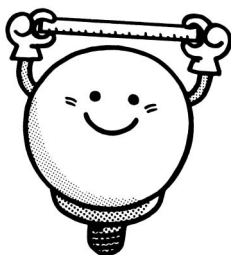
7-20 使用できる器具は?

電球形
蛍光灯

ランプの大きさ(外径・長さ)や重さを十分考慮してご使用下さい。調光器機能のついた器具では使用できません。

(調光器対応タイプを除く)

また、密閉構造の器具では使用できない場合がありますので、ご注意ください。



7-21 分解・改造はしないで

電球形
蛍光灯

発光管など部品の取替えはできません。また、放熱孔には金属類を差し込まないでください。



7-22 蛍光灯と器具の適合性(40形の場合)

蛍光灯は、器具や安定器の種類によって、適合ランプが制限される場合があります。正しい組合せを確認のうえご使用ください。

ランプの種類 器具の種類		スタータ形蛍光灯 FL, FCL	ラピッドスタート形蛍光灯(FLR)		高周波点灯専用(Hf)形 蛍光灯 FHF
			M(M-X) 内面導電被膜方式	M / 36(M-X・36) 内面導電被膜方式 節電タイプ	
銅鉄式	スタータ式器具		即時点灯しない	× 過電流、短寿命	× 始動不良、低温チラツキ
	ラピッド式器具	× 始動不良、短寿命			× 始動不良、短寿命
インバータ式	FL用(家庭用)器具		×	×	×
	FLR用器具 (施設、オフィス用)	×			× インバータ短寿命
	Hf用器具 (調光用含む)	×	×	×	
非常灯、誘導灯器具		非常灯、誘導灯器具への適合ランプ：日本照明器具工業会規格で規定されています。			

：安定器やインバータの種類、ランプの種類、大きさによって適合ランプが異なるので取扱説明書等でご確認ください。